

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2004-503767(P2004-503767A)

【公表日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2002-510912(P2002-510912)

【国際特許分類】

G 0 1 N 11/14 (2006.01)

G 0 1 N 25/20 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 11/14 F

G 0 1 N 25/20 J

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月29日(2007.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】ダイアフラムを有する駆動装置と、

前記駆動装置のダイアフラムから第1の距離で配置されたダイアフラムを有するセンサと、

前記駆動装置およびセンサのダイアフラムの周縁どうしの間および周縁の周りに、ダイアフラム間のキャビティを形成すべく形成されたフィッティングと、

キャビティに対する漏れ口を設けるために前記フィッティングに形成された開口部と、を備える準静的粘度計。

【請求項2】流体に対して粘度に基づいて酸素消費量を表示する装置であって、ダイアフラムを有する駆動装置と、

前記駆動装置のダイアフラムに隣接するダイアフラムを有するセンサと、

前記駆動装置に並置された第1の開口端と前記センサに並置された第2の開口端とを有するフィッティングであって、前記駆動装置およびセンサとともにキャビティを形成するフィッティングと、

前記フィッティング内に形成された漏れ口と、を備える表示装置。

【請求項3】キャビティを有する構造物と、

前記構造物上に位置するアクチュエータと、

前記構造物上に位置し、前記アクチュエータに隣接する検出器と、

前記キャビティと流体を有する環境との間の漏れ口と、を備える準静的粘度計。